



考
え
マ
ウ
シ

第八十七回 ガイドラインと

『聖なる交差点』

K A G E R O U、カッコ悪い。
K A G E R O U に学ぶ人、
カッコいい。

弦楽器イルカ  ⇔ 友人

目次

第八十七回 ガイドラインと『聖なる交差点』～ U から G へ～	1
第八十七回 ガイドラインと『聖なる交差点』～ G から U へ～	4

第八十七回 ガイドラインと『聖なる交差点』～ U から G へ～

昨日の会見は16時から日付変わる後までほぼぶっ通しで見たよ。

さすがフジテレビのトップに上り詰めた人たちだけあって、めちゃくちゃ優秀だと思ったわ。悲しいサラーマンとして超優秀。逆に記者たちはひどかったわ。ホームレスストレスの個人ライターとか何喋ってるかわからん奴らも多かった。

総じて、役員に逃げ切られてしまったと思う。今回追求するべきは、なぜ港社長らは辞任して会見をしているのかだと思う。

そこにフジテレビのまずかった点が詰まっていたはずだ。第三者委員会の調査は控えているが、それは弁護士目線の調査なので、もっと記者は国民目線で鋭く追求するべきだった。

一番惜しかったのは、1人が粘って、中居氏と女性の間で不同意があったと認めたのかどうかを追求し続けたシーンだ。司会も遮り空気読めないと一部からは思われただろうに、そんな中よく頑張った。そのシーンでは一致不致のどちらなのか言っていて、失言と訂正まで生じさせたが、ここを逃げられたのは惜しかった。最後は話せない内容とされてしまったが、事実は明らかで不一致に決まっている。だからここまで問題になっているしフジテレビも中居の番組を打ち切ろうとした。

フジテレビの最大の罪はここから始まるし、それは中居に配慮して中居への追求や調査をろくにせず、曖昧にして過ごしてしまった。そこにフジテレビの体質としての問題があって、港社長もそれをわかっていて。だからこそ、本当はそれが理由で辞任するでしょ、と明確にしてほしかった。会見では女性にケアしたことを強調してたが、当時としては十分ケアしたのが本当なら辞任する必要なんて無いことは誰でもわかる。中居に忖度したのならそこは組織的な重罪だ。

フジテレビの体質については1988年からトップに居座り続けた日枝が関係しないはずがないが、その点も逃げ切られた。役員らがいくら否定しても、日枝のコメントや謝罪がないなら何も意味がないと思う。そして第三者委員会にもある程度期待はするが、そういうのを追及するのが記者であるはずなの

に、出来なかった。総力としてフジテレビ役員の方が上手だったと思う。賢い記者はお利口さんすぎてルールで封じられ（一社質問は2つまで）、賢く無い記者がルールを守らず進行の妨げになり、ルールは守りましようって空気の餌にしまったのは、本当に惜しかった。このことはフジテレビ側はある程度計算に入れてたように思った。

せめて有力な記者たちは事前に協力しておけばよかった。

あ、実は俺はあまり中居くんは悪く無いと思ってる。少なくとも犯罪者扱いにはいけないし、超悪オヤジくらいだと。

フジテレビは自社の社員を守らなきゃダメだけど、そんなレベルではなく、世間で言われてるような女子アナの性上納とかキャバ嬢扱いとかが実態としてあったと思う。そうしたら、中居くんもある意味被害者の要素もあると思ってる。

あ、チョイ悪オヤジね。



第八十七回 ガイドラインと『聖なる交差点』～GからUへ～

いや、超悪でちょうどいいよ。

テレビがカッコ悪くて、一般の無名の人こそカッコいいって価値観を、今こそACは某園使って放送するべきだよ。

最近、『最強伝説黒沢』を読み直したんだけど。公共財の電波を独占してるだけのテレビ人より、それ以外の例えば廃炉作業の現場とかで働いている無名の人々の方が絶対この国の役に立ってる。

テレビが高給取りっていう現実には、納得できる理由がない。テレビに金が集まる社会は間違ってるって、一般の無名人たちはもっと自分の生活のために声を上げるべきだ。

テレビ局員、広告代理店、芸能人。選挙で選ばれたわけでもないのに、なぜ自分が明日も公共の電波を独占できると憶測できるのか。ファンも、なぜ自分の推しが明日もテレビに出れると憶測できたのか。ムシ考な国民がテレビを妄信しすぎているせいで、テレビ局が人権侵害の可能性を抱えたまま業務を継続してる。この国の治安が悪くなるのは当然だろう。

せっかく早く書いてくれたのに、返信遅れてごめんね。いつも通り誰も書かないウマシカな視点で書きたいと思って、時間かかりました。今回、書きたいことが多くて、ぶつ切りの寄せ集めです。

まず前回までの続きで言うと、地球外高度知的生命体から見れば、人間なんて熊や猿と大して変わらないと思う。そして、熊や猿なら性加害して当然だ。

だったら、21世紀の刑罰について改めて議論しても良くない？ 本当に加害者のチンコ一つくらい切っちゃダメなのかね？ 一個や二個、減るもんじゃないし。ウィキったら他国でも例があるし、野生動物でもある人間を過信しすぎてない？

学生時代にバイトをした時、若い現場作業員の男二人がふざけて、後背位の真似事して腰降ってる無垢な笑顔に衝撃を受けたことがあった。

「マウンティングしてる！猿と同じだ！ やっぱ人間は猿から進化したって本当だったんだ！」って素直に驚いたよ。

俺には人前で同性の友人と後背位の真似事して無邪気にじゃれ合うって発想が全くなかったから、人類に失望した瞬間だった。言い過ぎですが。

とはいえ、読解力含めたこの国の学力は大人も子供も上昇して世界の上位5か国に入ったそうだから、海外に比べたらまだマシって、議論で問題を解決する将来に期待しよう。

会見について思うのは、記者の業績で最も重要なのは良質な記事であって、マナーじゃないってこと。この国は、ビールの泡とか ZOOM の上座とか、どうでもいいマナーと記者クラブ守ってスクープ書かず、って報道が不自由だからね。

とはいえ、確かにフリー記者同士も連携して質問を事前協議しないと。

とりあえず、ホテルの費用を経費で落としたかの質問があったから、テレビ局がこれ以上隠蔽しなければ、いずれ常習性も含めて明らかにするんじゃない？

でも本来、第三者の調査を待つ法的根拠は特にないそうだから、公共財を独占してるテレビ局は自主的に正直に話すのが筋だ。しかし立場を守る彼らはお台場の貝になった。

いっそ楽しくなきゃって、貝の被り物でもしてきた方が潔かったのに。基本的にはいつものテレビ・ショーだった。

「社員より芸能人を優先した」「ふてほど上司の鬼畜な所業報道」「コンプラ部に知らせていない」「引退しない上層部が超高齢」って根拠のある事実だけで、アイドル事務所の時と同じ、ウマシカとしては詰みで投了だ。

「被害者になったら自分を守るために、証拠を固めて強かに生きる」って教訓は得られたよ。法治国家が一応機能してることの証明になったけど、テレビ局にもアイドル事務所にも警察が介入しないのは、弱い卵のような個人よりも集団の壁のような権力の方が強いって証明に他ならないだろう。

気になって大雑把に視聴率を調べたら、毎日約3割の国民がテレビを観てる計算だった。つまり、憶測の定義について考えたこともないムシ考な約3割の国民と芸能人で、テレビは回ってる。

少なくとも無知の知を知っていれば、絶対的根拠のある事実など一つもないことは自明の理だ。人間の言動は全て憶測であり、曖昧な記憶と限られた知識に基づいている。

だから、芸人がワイドショーで「根拠のない憶測を語るな」って、憶測が嫌なら芸能人は全員廃業するしかない。憶測の権化である芸人がキャスティングされてるのは、根拠のない憶測を視聴者目線で垂れ流すためだ。無知にもほどがある。

憶測で勝手に共感してファンになるのも、憶測で勝手に怒ってSNSに暴言吐くのも、同じ機序だ。アイドルは恋愛もパワハラも排泄もしないとか、テレビはヤラセも枕営業も薬物もないとか、芸能人やテレビの集金システムはそういう根拠のない憶測が原動力になってる。

少しでも憶測を減らしたければ、芸能人は排斥して学者や専門家を出演させるしかない。

幽霊や宇宙人や占いや予言みたいな完全に根拠のない憶測は放送するのに、業界で起こっている薬物や性加害の実態や福島のアラカルを切除された多数の子どもたちの痛みや訴えについては、全く放送しない。公共の電波を使うなら、主要なテレビ局員や芸能人が出演して、どうやって薬物や性加害を業界から根絶できるのか、自分の目で見た現実について、真剣に討論する番組を全局10時間ぶち抜き放送するよう、国民は当然の権利として訴えるべきだ。

犯罪や人権侵害の温床や福島で甲状腺を切除された子供たちの裁判に蓋して、見て見ぬフリするテレ

ピを観て笑ってる、一番の罪は国民のムシ考だよ。

ちなみに前も書いたけど、アイドルを公務員にして、プロスポーツとほぼ一緒の仕組みで、12アイドルチーム作って、全国で対バンライブしたらいいんじゃないの？ 透明性のある団体を作って、透明性のあるルールも作って。スポンサーや監督がいて。プロスポーツがテレビ放送なくても試合するように、アイドルも目の前の観客のみでテレビを前提にしないほうがいいんじゃないの？

年間動員数とパフォーマンスのレベルをAIが判断して最優秀パフォーマンス賞を決める。動員数の少ないチームは下部リーグに落ちる。

一番のポイントは、スポーツ選手って見た目じゃなく実績が重要だから、大谷が結婚しても裏切ったとかファンやめますとか、誹謗中傷にはならないじゃん。疑似恋愛をエサにする野良ドルより、活動重視の公ドルの方が、文化として健全じゃない？

さらに大前提として、マスメディアは自己に都合の悪い情報を隠蔽し続けてきたけど、そこをSNSに突破され始めている。

一方、犯罪者が手紙や集会で連絡を取るのとはや現実的ではなく、スマホやネットが情報伝達に悪用されて大きな被害が始めている時代だから、ネット規制は当たり前だ。

また、昔から五人組や隣組や魔女狩りやデビルマン的な監視システムは無数にあったはずだ。むしろネット初期から今まで、家族や組織の監視から個人が解き放たれた無法空間がネット上に存在していること自体が、相互監視によって治安を維持してきた現実社会から見れば、異常だとも言えるだろう。

だが、人命よりも経済が優先される資本主義社会においては、車もスマホも立ちんぼも輩ビジネスも緩い規制しかされてこなかった。自分にとって便利で都合が良く面白ければ、被害は黙殺されてきた。

ただ、使うことや見ることの責任について、問われるべき時代が来たと思う。スマホや車やテレビを、平時は便利に面白がっている以上、実際に自分や家族が犯罪に巻き込まれた時、その責任は取らないといけない。

日ごろから自己責任が叫ばれている社会だから、面白がる側にも自己責任がある。

国民全員がBD化したらどんな社会になるか、自分が推してる文化のメリットとデメリットを考えてから、自己責任で楽しむべきだし、治安を悪化させる文化には拒絶する意思を弁論で示さないといけない。見るだけで量子にゆらぎが生じるなら、視聴者にもなんらかの責任が伴うはずだよ。

でも、中居がこうなったのは、出川のせいだよ。

前からずっと書くかと思ってた。1995年頃、リアルタイムで俺もテレビを観ていた。

出川が、ゲイの集団に拘束されレイプされてる番組が放送された。正直、俺は怖くて全然笑えなかった。当時のタイトルが「姫はじめ」って人権侵害でバカにしてるし、俺は出川が殺されるんじゃないか

とマジで思ったよ。今思えばもちろん、放送されてるってことは一応無事だったかヤラセだったかなんだけど。

ゲイの集団に拘束レイプされ、それを全国放送されて視聴者に笑われる。

出川以外の芸人なら、屈辱で自殺してた可能性だってあったかもしれない。少なくともテレビ相手に訴訟起こしたら、たぶん勝訴できる案件だ。もちろん、その後テレビには一切出れなくなるだろうけど。よくある、キャストینگ権をちらつかせて、訴えを潰す方法だ。

何度も書くけど、ゲイの集団に拘束レイプされ、それを全国放送されて視聴者に笑われたのが、自分だったらどうする？

同じように人権侵害の可能性があったなすびや有吉も、その番組に出演後はあまり関わらず一定の距離を取ってると俺は思う。

でも出川は、ガチで痛かった、嫌だったと笑いながら、武勇伝として語ってる。だからテレビに出演できる。

芸人と言うより、狂人のメンタルだ。

自身の公開レイプも笑いに変えた男なんだから、そりゃ枕営業だって「むしろラッキー。おいしいジャン」ってガチで思うよ。自分はそれ以上のことしてる狂人なんだから。しかもそれを多くの国民も知ってるんだから。

あるとき出川が訴えていれば、テレビは変わるチャンスだったのに、出川がそれをしなかったせいで、テレビは変われなかった。まさに失われた30年。出川が奪った30年だ。

だから、中居がこうなった原因は、テレビを無法地帯に変えた出川の責任だ。

今こそ、全テレビ関係者は出川を訴えないと。「我々は出川を訴える」って。冗談だけど、事実は事実だよ。

ってか今後、枕営業は出川みたいに放送中にやるべきだね。あ、やってんだ、ってみんな知ってれば公平ではあるからね。間違いなく停波だけど。

こっからちょっと真面目に語ると、たけしがさも簡単に説得力のある話をするから、他の芸能人もできると勘違いしたんだよ。たけしの本や自伝に触れたら、その生い立ちや才能や努力が説得力の源になっているのに嫌でも気づく。見よう見まねでムシ考な芸能人がコメントしても無知の恥をさらすだけだ。

前からカズレーザーの番組が面白いて言い続けてるけど、大学教授が一を言ったら、カズが十を返して、大学教授が慌てて百を言い返すって、あの瞬間の大学教授の目の色の変わりようとか知的なスリリングさが面白くて観てる。もちろん台本はあるんだろうけど、他の芸能人では替えの利かない珍しい番組だと思う。

そういう意味で俺としては、今の芸能人で唯一の価値を持ってるのは、たけしとカズレーザーくらいじゃないかと思う。他は佐久間さん含めても、濃淡あれどテレビの選民意識が鼻について、何とも言え

ないね。某あちこちトーク番組も、芸能なんて数ある仕事の一つでしかないのに、持ちあげすぎの回も多い。

いい加減、ない才能を無駄な尺で埋めて金をもらうのはただの詐欺じゃない？

ってか、世の中の本もドラマも映画も、いい加減、長すぎじゃない？

テレビドラマも、脚本が先にあるならまだしも、ワンシーゼンの時間が決まってて放送しないと金が入らないから、内容よりも尺が埋まるかどうか優先される。

本来、数行で済む本や数分で済むドラマを、金をもらうためだけに量を水増ししてる。そんなの小学生でもわかる理屈だ。

でも、誰も言わない。一言だけじゃ金もらえないから、内容はなくても金のために長くしてるんですって。たぶん、テレビの劣化とか、こういうすぐく当たり前の事実を隠すところから始まってるって俺は思う。そしてそれが、最終的にはこの国の文化の幼稚化につながっていく話だ。

だから芸能人が、テレビの問題は一般人の生活には関係ないとか乱暴な憶測を騙るのも、単なる業界の断末魔でしかない。

どうしても言いたいなら、まず公共財である電波を国民に返してから言えって思うし、電波オークションで税収を増やした方が国民の生活が豊かになる可能性もあるから、少なくとも議論の余地はあるはずだ。

ここから、まとめに入ります。今回、まとめを一番先に書いて、ちょっと重複する記述が多いけど、最後に置いときます。

「恋愛」「笑い」「藪の中」などに続いて、テレビについてそろそろ最終的な結論にたどり着きそうだ。

テレビはほぼ観ないけど、最近わざと消音にしてテレビを観察するときがある。音のないテレビは、無意味な情報を盛りまくって「撮れ高」と言い張る箱だ。公共の電波を使っているのに効率よく集金するか、集金のために尺さえ埋まれば何が映っているようがかまわない。

公共の福祉を増進する名目で、ダイエットサプリやら怪しげなショッピング番組を垂れ流すテレビ局に、格安の独占権を与え続けるのは果たして合法と言えるのか。

税収を上げるために公共の電波を売りに出すとか、公共性のないテレビ局は有料制にするとか、公共財を有意義に使うための議論を、テレビ番組としてもっと放送するべきだ。

だいたい、Uはなんで松本を面白いと思うの？

俺から見たら、10年以上前からUの方が松本より8倍くらい知識も豊富で面白いよ。

Uは結局、『カイジ』の鉄骨渡りをワインくゆらせながら観てる悪趣味な客を気取ってるだけでしょ？ BDとか松本とか中居って、客からバカにされて蔑まれてること気づかずに回されてる猿だと思うよ。一生懸命悲しく騒ぐ見世物の猿だから珍しがられて笑われてるだけ。

でも腐っても客だからね。猿だって、エサももらえるから回るだけ。客から尊敬されてるか蔑まれてるかなんて重要じゃない。汚い銭でも芸能人の豪邸は建つ。

そもそもテレビ全体が猿回しの猿じゃん。猿なのに、国民がほぼ全員従順なムシ考だから、気づいてないか、気づいてても無視してる。おかげで猿が狡猾に社会を騙してムシ考を食いモノにしてる。テレビと視聴者の関係ってそんなもんでしょ。

今や選挙と同じで、投票率が低い方が与党にとっちゃ都合がいいし、視聴率も低い方がテレビ局の懐を肥やすだけのくだらない番組を作りやすい。下手に視聴率取ると、視聴者目線で注目されるから、その分クレームも出るし金も労力もかかる。

営利企業のテレビ局にとっては、視聴者が誰も興味ないけどただつけてるだけ、それでいて金がかからず集金が多い番組が最高だから、通販やら案件番組ばかりになる。

もちろん極端に視聴率が落ちればスポンサー離れも加速するけど、結局スポンサーが広告費出せるとこはネットかマスコミくらいしかないから、現状のままならスポンサーははずるずる金を払い続ける。

そしてともととテレビや芸能人が、本物の選挙で選ばれてもないから、そこに民意もない。

力道山の時代ならいざ知らず、テレビの視聴率も落ちてるし、現代のテレビが民意を反映してるとは全く思わない。

テレビが法に守られて来た歴史があって、いまや公共の電波を無駄に垂れ流すような放送ばっかで、それに必要なつまらない芸能人がいるだけ。

ってか、今回最も書きたい結論をやっと書くけど、すべての学問はいい加減、「諸説ある」とか逃げてないで、研究の成果をもっと広く世間に向けたガイドラインとして発表すべきだ。

哲学をはじめすべての学問は税金で長い時間かけて研究されてきた。ただ、その成果が一般市民に可視化されていない。これは「実学か虚学か」という議論ではなく、より重箱の隅をつつくことに逃げる学者への警鐘だ。

各学者が自分の長い本を売りたいがために、短いガイドラインを無料で公開することを拒否してる。

絶対に賛否はあるし随時更新されるのは当然として、一般市民も閲覧可能なガイドラインは有効であり、そもそも現在までに各分野の研究がどこまで行われているかの目安にもなる。

たとえば、「はじめのガイドライン」を国が公表したことではじめとは何か、被害者が閲覧できるようになった。様々な疾病や治療のガイドラインも昔から更新されており、患者がネットで簡単に病気がどうか調べられるようになった。

もちろんそれによるデメリットもあるだろう。

ただ研究に公金が使われている以上、一般市民にもわかりやすく研究の成果が無料で公開されるべきだし、それによって助かる人もいる。

「宇宙とは何か」「人はなぜ生きるか」「戦争とは何か」「芸能界とテレビ局のあり方」、様々な問いに対するガイドラインはあってしかるべきだ。各学会間で諸説あるとしても、それがより議論の発展になるよ

う併記して調整すべきだ。

学問がやらないなら、「人は生まれたから仕方なく生きるウマシカです」とか、「殺人が可能な人間と戦争を商売にする人間が組んで、殺し合いで利益を得るのが戦争ですが何か？」とか、ウマシカのブンザイでやるだけだけど。

責任を取りたくない学者が前に出ないから、芸能人やテレビに好き勝手されてる。文化の質が、より根拠のない憶測でどんどん幼稚化していく。

「『KAGEROU』とはいったい何だったのか？」

あれから10年以上経った今だからこそ、この検証から学べることはたくさんあるはずだ。あの時誰が何を言って、実際何がどうなって、誰が得をして、誰が損をしたか？

あと、某1TAKEで「ロックンロールは鳴り止まないっ」がかかったこのタイミングに、10年以上前に中居と交差したあの点から今こんだけの差がついたって感慨も止まらないっ。

そして、『KAGEROU』と人類（とウマシカ）が交差したどっかの点もまた、『聖なる交差点』だったことを感じずにはいられないっ。

今回こそ、『侍タイムスリッパー』の話をしたかったんだけど、ここで力尽きました。また次回ね。今回はこんな感じ。どうかな？



考えるウマシカ～ 第八十七回 ガイドラインと『聖なる交差点』 ～

著 者 弦楽器イルカ

制 作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
